



○平成22年度 危険物取扱者試験

平成22年度の試験は、3回実施されます。

	第1回試験	第2回試験	第3回試験
願書受付開始	4月19日	9月16日	12月15日
願書締切日	4月30日	10月1日	1月11日
試験種類	全種類		
試験日	6月20日	11月28日	2月27日
試験地区	北九州、太宰府、大牟田、久留米、飯塚、苅田		

平成22年度よりインターネットによる電子申請ができるようになります。

詳しくは(財)消防試験研究センターのホームページをご覧ください。

なお、受験者のための準備講習会を開催しています。第1回目については5月18日に実施します。2回目、3回目については、それぞれの願書受付開始日頃に消防本部予防課にお尋ねください。

■問合せ先：甘木・朝倉消防本部 予防課
電話：23 - 2752



○改正労働基準法が 4月1日施行 —長時間労働を抑制するため—

長時間労働を抑制し、労働者の健康確保や仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進することを目的に、労働基準法等が改正され、平成22年4月1日施行されました。

主な改正点は、次のとおりです。

- ① 限度時間(例えば1か月では45時間)を超える時間外労働の割増賃金率を「25%を超える率」にするよう努めてもらうことになりました。
- ② 1か月60時間を超える時間外労働については、法定割増賃金率が50%以上に引き上げられました。また、この引き上げ分(25%から50%以上に引き上げた差の部分)の割増賃金の支払いに代えて、有給の休暇を付与する制度(代替休暇)が設けられています。なお、この②に記載する事項は、当分の間、中小企業には適用が猶予されます。
- ③ 年次有給休暇について、労使協定を締結することにより、1年に5日を限度として時間単位での取得が可能となりました。

詳しくは、福岡労働局ホームページ
(<http://www.fukuoka-pld.go.jp/1topics/topics454.html>)をご覧ください。

■問合せ先：福岡労働局労働基準部監督課
電話：092 - 411 - 4862



○依存症関連のこころの 健康相談

依存することでおこる問題を一人で抱えていませんか?アルコール、薬物・シンナー、ギャンブルや買物などに依存し、生活する上で困ったことがおきていませんか?家族の依存のことで問題を抱え、どう対応したらよいのか悩んでいませんか?

当所では精神科医による依存症に関連するこころの健康相談を行います。

依存症について一緒に考えてみませんか?

相談は予約制となっておりますので、ご連絡をお待ちいたしております。

相談内容については秘密は厳守しております。安心してご連絡ください。

■日時：4月26日(月)14:00～16:00

■場所：福岡県北筑後保健福祉環境事務所久留米分庁舎
(福岡県久留米総合庁舎3階ダイケア室)
久留米市合川町1642-1

*交通機関：西鉄バス「久留米総合庁舎前」下車すぐ

■費用：無料です

■予約先：福岡県北筑後保健福祉環境事務所
健康増進課 精神保健係
電話：22 - 3965 FAX：24 - 9260
申し込みは、電話でお願いします。

○暴力団被害集中相談

暴力団による暴力等被害者の早期救済を目的に、警察、弁護士会、県暴追センター、福岡市暴力追放相談センター、北九州市市民暴力相談センター、飯塚市民暴力相談センター及び久留米暴力追放推進協議会等が連携して、下記のとおり面接、電話による集中相談を実施いたします。

ご相談をお待ちしております。

■日時：4月24日(土)10:00～16:00

■場所：久留米市暴力追放推進協議会
(久留米市役所3階)

相談電話番号：0942 - 30 - 9055

■問合せ先：(財)福岡県暴力追放推進協議会
電話：092 - 651 - 8938

投稿掲示板

故郷を離れしあの頃



千葉県松戸市在住・井上 洋一さん
(東峰村大字宝珠山 大行司出身)

いま東京・下町の一角に黒い鉄塔が空に向かって伸び始めている。世界一高いタワーを目指して建設中の“東京スカイツリー”である。あの有名な浅草寺の境内から隅田川越しに見え、別名「ムサシ(634)」で親しまれるこの巨大タワーは、634メートルの高さを誇り完成の暁には『東京の新名所』として、世界中から多くの観光客を呼び寄せる威力を発揮するであろう。

この雄姿を眺める度に私は若い頃の自分を思い出す——。昭和33年の春、私は故郷・宝珠山を後にして、国鉄(JR)・博多駅から夜行列車に飛び乗った。行き先は「東京」である。右も左も分からない大都会へ、僅かに貯めた学資金を母に作って貰った腹巻の奥深くに包み込み、朝羽高校・井手輝彦教諭(当時)から頂いた紹介状を手に古賀暁先輩を頼って東京へ出てきたのである。杷木町久喜宮出身の古賀先輩は、昭和31年に他界した衆議院議員・熊谷憲一代議士の私設秘書をしていた方で、早速、東京・杉並区にあった「朝倉寮」に入居することが出来た。

この「朝倉寮」とは、熊谷憲一先生が苦学する若者たちのために下宿代無償で提供していた学生寮である。平屋建ての一軒家には既に10人近くの学生が働きながら勉学に励んでいる姿があり、私は幸いにもその最後の入居者となった。

旧・杷木町松末生まれだった生前の熊谷先生は、ご自分も若かりし頃苦学の道を歩んで旧制・小倉中学から一高・帝大(東大)へと進まれたと言われ、将来性ある若者のために学生寮を2カ所設置していた。我われの居住する「朝倉寮」と、母校である小倉高校出身の優秀な学生が住む「小倉寮」である。下屋風の我われの寮に比して小倉寮は鉄筋・賄い付きの素晴らしい建物であった。勿論、有償であったが……。

この「朝倉寮」での生活が、私にとって社会人として生き抜く“気迫の原点”となったことは云うまでもない。苦しいなかでお互いに助け合い、励まし合いながら生活を共にしてきた寮仲間の絆は強く、半世紀たった今でも友好の輪で結ばれている。数年前から“朝倉会”に参加し始め、東峰村・高倉秀信村長とお会い出来たのもこうした縁からである。

そして、その頃我われは最寄りの国電中央線・西荻窪駅から都心に通う車中で、毎日のように当時建設が進む「東京タワー」(昭和34年完成)を車窓から遠方に眺めながら、将来への夢を語り合ったものである。日に日に高くなっていく東京タワーは、何故か我われに大きな力を与えてくれた。今は懐かし“故郷を離れしあの頃”の思い出である……。

最後に余談ながら、近年“村山珠寶”の名で時々雑文を記している。今も歌舞伎のことを書いている。これは生まれ育った旧・宝珠山村を忘れ切れないでいる私のペンネームである。

高倉村長

- 4(木) モデル公民館発表会
- 9(火) 東峰村議会定例会(12日まで)
- 13(土) 東峰中学校卒業式
- 17(水) 福岡県町村長会
- 19(金) 小学校卒業式
- 24(水) 山村留学修了式
- 26(金) 小石原保育園卒園式
- 27(土) 美星保育所卒園式
- 29(月) 福岡県後期高齢者医療広域連合会議

※村長の行動記録からいくつか抜粋し紹介したものです。

3～4月15日の動き

- 1(木) 区長会
- 3(土) 美星保育所入園式
- 4(日) 東峰村消防団入退団式
- 小石原保育園入園式
- 5(月) 東峰村身体障害者福祉協会総会
朝倉郡身体障害者福祉協会総会
- 6(火) 福岡県町村会臨時総会
- 7(水) 老人クラブ連合会総会
- 8(木) 東峰中学校入学式
- 9(金) 小学校入学式
- 10(土) 岩屋まつり